

# 米 国 薬 学 研 修 報 告

## 2022 年度 ウェスタン大学アメリカ研修 個人報告書

21A124 水谷めぐみ

私は 2023 年 2 月 21 日から 3 月 5 日にかけて行われたウェスタン大学アメリカ研修に参加しました。ウェスタン健康科学大学 (Western university of Health science) と連携したこの研修は東邦大学と合同して行われ、併せて 14 名の学生が参加しました。

ウェスタン健康科学大学ではアメリカの医療制度を始めとして、保険制度やアメリカでの薬剤師のあり方、アメリカの薬学教育について講義を受けました。

また講義を受けるだけでなく、physical assessment や immunization demo といった体験をしました。

Physical assessment では学生同士で互いに脈拍を測るなど診察方法について学びました。またデモ機を使用し、正常な肺の音と異常がある肺の音の聴き比べをしました。

日本の薬剤師とアメリカの薬剤師において大きく違うことの一つにワクチン接種の資格があることです。

アメリカでは新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって薬剤師が接種する機会が増え、薬剤師によるワクチン接種が一般的になりました。

注射方法や注射を行う部位についての講義を受け、実際に生理食塩水をオレンジに注射するという体験をしました。



写真1 ワクチン接種のデモンストレーション

### ● プレゼンテーション

プレゼンテーションのプログラムがあり、昨日受けた講義内容や体験したこと等を英語で発表しました。

チームプレゼンテーションでは数グループに分かれ、上級生、下級生といった学年にこだわることなく、気兼ねなく意見を出し合い、プレゼンテーションを制作、発表しました。このプレゼンテーションでは学年や大学といった垣根を超えて関係を育むことができました。

下級生がまだ大学の講義で受けていない内容を上級生に教えてもらうことで知識不足を補い合いました。

私たちの班は OTC 薬品についての発表を行いました。事前に日本のドラッグストアを見学し、日本の OTC 薬品について調査をしました。これによりアメリカと日本の OTC 薬品の違いについて学ぶことができました。

私たちの班は風邪薬の OTC 薬品の違いについて発表しました。

- OTC 薬品

日本の OTC 薬品とアメリカの OTC 薬品において剤形の違いが大きな特徴です。日本ではタブレット錠が多く、シロップは子供用以外あまりありません。しかしアメリカでは風邪薬の多くがシロップ状でした。



写真2 アメリカのシロップ剤

- アメリカの薬剤師

先に述べたようにアメリカの病院や薬局、ドラッグストアなどを見学しました。

アメリカは州によって法律が違うため、州ごとに薬剤師が業務を行える範囲が異なります。私が研修に行ったカリフォルニア州では他州に比べて条件の規制緩和が進んでいるため、薬剤師が行うことができる業務の範囲が広く、カリフォルニア州で初めて法律が制定されることもあるという話を聞きました。

- 感想

このアメリカ薬学研修を通して様々なことを体験できました。アメリカの保険制度を学んだ際、このような皆保険制度ではない複雑で特異性の高い保険制度はアメリカだけだと知ってアメリカの資本主義を強く感じました。またウエスタン大学での薬剤師教育は臨床教育に力を入れていると思いました。アメリカの薬剤師は医師のように細分化されていて、それはレジデンシー制度が周知されていることによって専門性の高い薬剤師が多いのではないかと考えられます。



写真3 ウェスタン大学での修了式